



長期経済展望 2022年

今後5年の5つのトレンド

世界のマクロ環境は正常とは程遠く、今後も創造的破壊と高い不確実性が続く可能性があります。直近の長期経済展望「レジリエンスを求めて」では、地政学的な分裂の拡大と、マクロ経済への長期的な影響について論じています。分裂が進む世界では、政府と企業の意思決定者は、安全性とレジリエンス（強靭性）を重視することになるでしょう。レジリエンスを求める結果、5つのトレンドが生じるとPIMCOでは予想しています。



成長とインフレ



防衛、医療、エネルギー、食料安全保障をはじめ、多くの分野で支出が増加



企業がサプライチェーンに冗長性をもたせ、拠点を近隣国に移そうとすることから、インフレ圧力が高まる

政策と金利



中央銀行は、経済成長を犠牲にしてインフレ抑制を優先すべきかジレンマに直面



信用事由とデフォルト・サイクルの発生確率が高まる中、政策当局の支援は薄い



金融の脱グローバル化と資本市場の分裂化



投資において考慮すべき重要事項

インフレに対するヘッジ

- ・ 戦争と制裁のショックは、新型コロナ関連の中国のロックダウンと相まって、短期的にインフレ率をさらに押し上げ、経済成長を減速させています。
- ・ 政府と企業の意思決定者は、安全性とレジリエンスの追求にますます注力するようになり、防衛費の増額、サプライチェーンの分散を進めていくとみられ、こうしたトレンドがインフレ圧力を高める可能性があります。
- ・ 多くの中央銀行は、インフレ抑制を優先し、政策金利を引き上げています。

債券市場におけるバリュエーションの回復

- ・ 今後5年において、多くの債券のベンチマークでプラスのリターンを予想しています。
- ・ 10年物米国債の利回りは、約1.5%~4%のレンジを予想しています。
- ・ 債券は分散型ポートフォリオにレジリエンスを構築する上で、引き続き重要な役割を果たすでしょう。

セクター別の投資機会



パブリック・クレジット

企業クレジットには慎重。
質を高めるアプローチを維持。



プライベート・クレジット

航空機ファイナンス、不動産ローン、機器リース、ロイヤリティ・ファイナンスなど多様なセグメントで健全な初期のバリュエーション。



株式市場

ベータ(市場全体)の収益が低下する世界で、アルファ(超過収益)を確保するには、長期テーマを認識し、新たな環境で恩恵を受ける銘柄を特定することが不可欠です。



エマージング市場

より高いリターンをもたらす可能性がありますが、ボラティリティと地政学的緊張が勝者と敗者を生み出す可能性があるため、銘柄選択が極めて重要になります。



為替

米ドルは過大評価されているように見えますが、ボラティリティが高い間は相対的に安全な逃避先として役立つでしょう。

グローバルな投資機会には、アクティブ運用が必要です。お客様の市場環境への対応と目標達成を支援する、PIMCOのアクティブ債券運用戦略に関する詳細は、弊社のアカウント・マネージャーにご照会ください。

過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

全ての投資にはリスクが伴い、価値は下落する場合があります。債券市場への投資は市場、金利、発行体、信用、インフレ、流動性などに関するリスクを伴うことがあります。ほぼ全ての債券及び債券戦略の価値は金利変動の影響を受けます。デュレーションの長い債券及び債券戦略は、より短い債券及び債券戦略と比べて金利感応度と価格変動性が高い傾向にあります。一般に債券価格は金利が上昇すると下落し、現在のような低金利環境ではリスクが高まります。債券取引におけるカウンターパーティーの取引能力の低下が市場流動性の低下や価格変動制の上昇をもたらす可能性があります。債券への投資では換金時に当初元本を上回ることも下回ることもあります。外貨建てあるいは外国籍の証券への投資には投資対象国の通貨価値の変動や経済及び政治情勢に起因するリスクを伴うことがあり、新興成長市場への投資ではかかるリスクが増大することがあります。為替レートは短期間に大きく変動する場合があります。ポートフォリオのリターンを減少させる可能性があります。プライベート・クレジットは、流動性リスクの影響を受ける可能性のある非上場株式への投資を伴います。プライベート・クレジットに投資するポートフォリオは、レバレッジをかけ、投資損失のリスクを高める投機的な投資行為を行う可能性があります。分散投資は損失を保証するものではありません。金融市場動向やポートフォリオ戦略に関する説明は現在の市場環境に基づくものであり、市場環境は変化します。マネジメント・リスクとは、PIMCOが用いる投資手法およびリスク分析が望んだ結果を生まないリスク、また、政策や変更等が戦略の運用においてPIMCOが利用可能な投資手法に影響を及ぼしうるリスクを指します。

金融市場動向やポートフォリオ戦略に関する説明は現在の市場環境に基づくものであり、市場環境は変化します。本資料で言及した投資戦略が、あらゆる市場環境においても有効である、またはあらゆる投資家に相応しいという保証はありません。投資家は、自らの長期的な投資能力、特に市場が悪化した局面における投資能力を評価する必要があります。投資判断にあたっては、必要に応じて投資の専門家にご相談ください。見直しおよび戦略は予告なしに変更される場合があります。

本資料に含まれる予測や推計及び特定の情報は独自のリサーチを基としており、投資助言や特定の証券、戦略、もしくは投資商品の推奨を目的としたものではありません。結果が保証されることはありません。

本資料には、資料作成時点でのPIMCOの見解が含まれていますが、その見解は予告なしに変更される場合があります。本資料は情報提供を目的として配布されるものであり、投資助言や特定の証券、戦略、もしくは投資商品の推奨を目的としたものではありません。本資料に記載されている情報は、信頼に足ると判断した情報源から得たものですが、その信頼性について保証するものではありません。

ピムコジャパンリミテッドが提供する投資信託商品やサービスは、日本の居住者であり、かつ法律による制約のない方に対して提供するものであり、かかる商品やサービスが許可されていない国・地域の方に提供するものではありません。

運用を行う資産の評価額は、組入有価証券等の価格、デリバティブ取引等の価値、金融市場の相場や金利等の変動、及び組入有価証券の発行体の財務状況や信用力等の影響を受けて変動します。また、外貨建資産に投資する場合は為替変動による影響も受けます。したがって投資元本や一定の運用成果が保証されているものではなく、損失をこうむることがあります。運用によって生じた損益は、全て投資家の皆様に帰属します。弊社が行う金融商品取引業に関してお客様にご負担頂く手数料等には、弊社に対する報酬及び有価証券等の売買手数料や保管費用等の諸費用がありますが、それらの報酬及び諸費用の種類ごと及び合計の金額・上限額・計算方法は、投資戦略や運用の状況、期間、残高等により異なるため表示することができません。

PIMCOは、アリアンツ・アセット・マネジメント・オブ・アメリカ・エル・ピーの米国およびその他の国における商標です。THE NEW NEUTRALは、パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーの米国およびその他の国における商標です。

本資料に掲載の全ての情報の著作権はPIMCOに帰属します。掲載情報・資料等の一部、もしくは全部を書面による許可なくして転載、複製することを禁じます。©2020年

(注) PIMCOはパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを意味し、その関係会社を含むグループ総称として用いられることがあります。

ピムコジャパンリミテッド

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)

第382号加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会